

新川会通信

第59号

すまいる

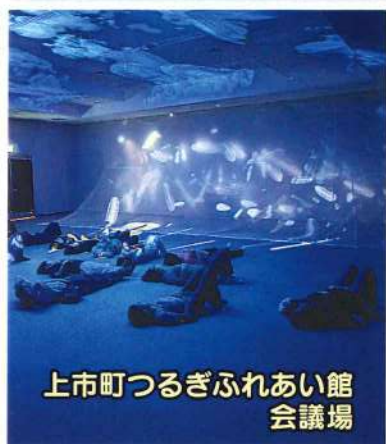
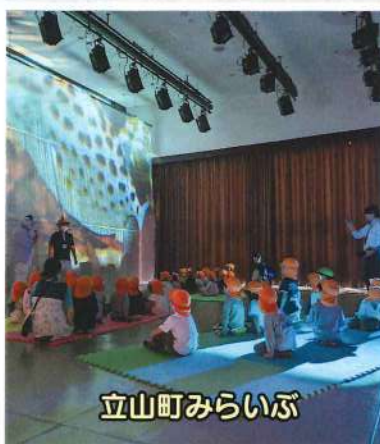
発行
社会福祉法人新川会〒930-0362
上市町稗田字七郎谷1-32
Tel (076) 472-1118
Fax (076) 472-5391
E-mail yotsubaen@niikawakai.jp
HP <http://www.niikawakai.jp/>

発行責任者 山岸 親史

滑川市児童館



四ツ葉園

上市町つるぎふれあい館
会議場

立山町みらいふ

舟橋村子育て支援センター
ぶらんこ

<テーマ> 地域交流

EPSONゆめ水族園プロジェクトが始まったのは三年前でした。コロナ感染症が最もピークの時です。利用者さんが楽しみにしているイベントもできなくなり、帰省さえもなくなってしまう、利用者さんが簡単に園外へ出る事ができない辛い時期でした。どうか少しでも利用者さんの気持ちを和らげたい。ご家族と一緒に楽しんでもらいたいという気持ちでエントリし、二年後の今年度、ようやく思いが実り、皆様の前で壁一面に魚が泳ぐ様子を披露することができました。

大きなスクリーンに映し出される魚の姿に『わあーっ』と歓声が上がった瞬間を今でも忘れません。そして、大きな魚たちが泳ぐ姿や心地よい音楽に、重度の利用者さんも気持ちよさそうに体を揺らしておられる様子が印象的でした。

水族園は四ツ葉園を飛び出し、滑川市、上市町、立山町、舟橋村の4市町村でも開催いたしました。各社会福祉協議会のスタッフと協力し、四ツ葉園のスタッフを中心に、総勢200人以上の方々を癒すことができました。四ツ葉園が地域の架け橋になった瞬間だと感じることができました。

ゆめ水族園
地域の架け橋へ四ツ葉園 支援課係長
酒井 友章

特集 つつじ苑 放課後等デイサービス



つつじ苑の放課後等デイサービスが始まってから約二年が経とうとしています。開始当初は新しい環境に戸惑う子ども達でしたが、次第に心を開いてくれるようになりました。新川会で初めての事業の導入ということで、色々な課題に直面しましたが、一つ一つ丁寧に向き合い乗り越えることが出来ました。その中でも「環境設定」



は日々の課題です。子ども達の成長に伴い、部屋のレイアウトや活動内容を繰り返し見直しています。現在、支援学校や地元の小学校の子ども達が利用されています。それぞれ利用頻度は異なり、毎日利用される方、特定の曜日のみの方がおられます。関係機関や保護者の方との連携は欠かせません。特に放課後の場合は学校での出来事を引きずっている場合もあるので、学校に送迎に行った時に先生との引継ぎがとても重要となります。

す。その情報を迅速に職員間で共有して適切な支援に繋がっています。

日々の過ごし方

平日は、登苑してから荷物の整理をして、課題を行った人からおやつの時間です。おやつは選択制で色々な種類のお菓子の中から好きな物を選びます。チョコレート系のお菓子が人気です。おやつ後は活動プログラムの時間です。製作活動、運動、レクリエーション、買い物体験、おやつ作り、季節の行事等の毎日異なる活動を取り入れています。

長期休みには、就労継続支援B型、生活介護の利用者さんと交流するイベントや作業体験、調理実習、外出等、普段体験できない活動を企画しています。また、夏休みには週に一回昼食のテイクアウトの日を設定しています。子ども達や保護者の方からも好評です。



来年度に向けて

子ども達の中には進級・入学に伴い下校時間が変わることや送迎場所が変更となったり、新しい環境に馴染むまで不安を感じることもあると思います。

焦らずゆっくり一人ひとりと向き合いながら、保護者の方と一緒に成長を見届けて行きたいと思います。

(宮本主任 記)

四ツ葉園だより



令和六年度は、たくさんの方の地域の皆さんのパワーをいただいた、各行事を楽しみました。

四ツ葉園祭

十月十二日(土)当日は天候にも恵まれたたくさんの方々が足を運んでくださいました。キッズダンスたちのかわいくキュートなダンスに、利用者の方々もノリノリで観ておられました。

★「NSP いづみミュージックスクール」 レイナ先生より

ステージでは、見てくださる方に、「元気をお届けできるように頑張って踊りたい」という気持ちで参加しました。お客さんから多くの拍手をいただき、踊っていて本当に嬉しく元気をもらえました。このような温かいステージでまた発表できるようにこれからも頑張っていきます。

(主務 西田主任)

期末の集い

十二月二十四日(火)、ボランティアの野尻由紀子さんと仲間達による寸劇、音楽教室発表と、一日



音楽に溢れるクリスマスを楽しみました。

★「立山町レクリエーション協会」 野尻由紀子様より

期末の集いにお誘いして下さりありがとうございました。寸劇では、皿売りの姉妹と設定して登場しましたね。こすれこすれの歌で腕・足・腰・顔などをこすりましたね。皆さんはどこをこすのか、期待に満ちていた様

に感じました。

クリスマスも、鈴を振って賑やかにできたことがとても嬉しく思いました。音楽の力って笑顔にしてくれるし、体も動かせるすごいパワーだと改めて実感しました。機会があれば、ぜひ音楽レクリエーションで楽しみたいです。

★音楽教室講師 川平智恵美先生より

クリスマスに近かったので「赤鼻のトナカイ」はすぐに決めました。もう一曲は綺麗な曲がいいなあ



いた楽譜の中から探して「千の風になって」を選びました。練習中、感動で涙された利用者さんがいらつしやいました。(最初は何で泣いているのか分からずみんなびっくりしていました)とても楽しく演奏できました。

(主務 藤井主任)

新年を祝う会

朝から雪が降り積もった一月九日(木)午後に、上市太極拳同好会の皆さんによる演武を鑑賞しました。鮮やかな衣装をまとい流れるような動きに、体育館がゆったりとした雰囲気になりました。(NHK歳末助け合い助成事業のご協力をいただきました。ありがとうございました。)

★「太極拳同好会」会長 松井栄子様より

四ツ葉園に初めて伺い、職員の方々に優しく迎えていただきました。私たちが演武中も利用者さんたちはニコニコ顔で手足を動か

し、動作を真似て動いてくださる方がたくさんいらつしや、私たちも思わずほっこりとした。笑顔で演武するのは初めてのすばらしい



体験でした。同じ地域に住む住民として、四ツ葉園の利用者の皆様に楽しいことをたくさん経験してほしいと思っています。

(主務 工藤主任)

四ツ葉園地域連携推進会議

利用者代表、保護者代表、上市町福祉課、上市町社会福祉協議会よりのご参加を得て、令和六年十月十七日に、第一回四ツ葉園地域連携推進会議が行われました。

活動紹介や園内見学の後、喫茶コーナーでは利用者の皆さんと一緒にコーヒを楽しんでいただきました。参加された方からは、「園に来て皆さんの顔が見れて良かった」「会議を通して、小さなお子さんから障害を持つ方とのふれあいが当たり前になるような取り組みをしていきたい」「利用者の生活のためにも地域と連携していきたい」「さかな(ゆめ水族園)が良かった」「また来てください」と意見が交わされました。

これからも利用者の皆さんが地域の一員としてどのように暮らしていくかをみんなで考えて実行していきたいと思っています。



(藤木施設長 記)

雷鳥苑だより



交通安全マスコット

毎年秋の全国交通安全運動期間中に、地域の方と交通安全マスコット配りをしています。

毎年、カメラやカエルをモチーフにし、ポプリやキーホルダーを作っています。ポプリには、雷鳥苑で育てたラベンダーを加工したものや、香りのビーズを入れたりしています。

今年は、「ゆっくり安全運転で」という意味を込め、カメラのマスコットを作りました。マスコットは、就労継続支援B型の利用者が作業時間に作っています。細かい作業で約百個作るのには根気がいりますが、利用者の皆さんは「頑張らないと」「あともうちょつとだ！」と一生懸命取り組んでいます。ドライバーの皆さんには「安全運転でお願いします」等の声掛けで配布をしています。

十一月一日に、長年にわたり交通事故の防止に寄与したことで、立山町より表彰をうけました。今後も地域の方との交流を深め、交通事故防止の呼びかけに努めたいと思います。



〇立山町交通安全協会事務局長の黒田敏彦様からコメントをいただきました。

はじめは不安な表情がみられた苑生さんも、参加を重ねるにつれて、てきぱきと自信をもって行動しているように感じました。また、車の前に飛び出さないかと心配していましたが、職員の指示をしっかりと聞いて動いており、安心しました。そして、ドライバーへの事故防止の呼びかけはもちろん、苑生や参加者全員が交通安全を意識できる活動が続いていきたいと思います。

(金川支援員 記)

さつき苑だより



〇上市町で農家をしておられる上丸堅司様からコメントをいただきました。

現在、稲17ヘクタール、大麦4ヘクタール、そば4ヘクタールの規模で栽培を行っております。令和四年から農業を始め、今年で四年目になります。前職が医療関係の仕事だったこともあり、初年度より農福連携事業としてさつき苑の方に農作業を手伝って頂いておりました。



作業内容としては苗をハウスに並べる作業、苗をトラックに積んで田んぼまで持っていく作業、苗箱を洗う作業、田んぼ周りの草刈り作業などをお願いしております。最初はどの程度の作業をお願いすれば良いかわかりませんが、職員の方と相談しながら少しずつお願い出来る作業が増えていきました。利用者の方は大変な作業のときも、夏の暑いときでも、とても丁寧な仕事を下さり、大変

助かっております。

農業界では担い手不足と言われており、私も年々経営面積が増えていく状況です。少ない人数で経営している私にとってさつき苑の方は無くてはならない存在になっております。今後とも継続してお手伝いして頂ければと思っておりますので、何卒よろしくお願いいたします。

以上、上丸さんにはありがたいお言葉をいただいております。特に「担い手不足」ということで私たち福祉事業所も協力したいと思っています。お互いに切磋琢磨しあいWINWINの関係が継続できればと思っています。前号でも農福連携事業について触れましたが今後も長い付き合いで地域の一員として認められるように頑張っていきたいと思っています。

(松岩主任 記)



つつじ苑だより

子ども図書館との交流

今年度生活介護班で、滑川市の市民プラザ（子ども図書館）に絵本の読み聞かせを何度か聞きに行きました。手遊びやパネルシアターを聞いたり製作活動を一緒にしたりと、図書館のスタッフさんとお話をしながら楽しい時間を過ごすことができました。

図書コーナーでは自分たちの好きな本をみつけて、広いスペースでゆったりと落ち着いて読んでいます。ディズニーなどのキャラクターの本が好きだったり、食べ物や物の雑誌を見たりと思いいの本と触れ合う時間がありました。また、好きな本や紙芝居を利用者さんと一緒に読んで借りていき、つつじ苑でも読み聞かせをしています。今後は生活介護班だけでなく、就労班や放課後デイサービスの利用者さんへの読み聞かせを計画しています。

○子ども図書館館長、妻木朋子様からお言葉をいただきました。

つつじ苑の皆様には昨年四月から定期的に来館いただいでい

ます。楽しそうに工作、寸劇、歌やクイズなどに参加されている様子を見て、うれしく思っています。絵本の読み聞かせには来館中の親子も参加することがあります。また、私たち職員も皆さんとの交流を楽しみにしています。これからも気軽にご利用ください。お待ちしております。

（村上支援員 記）



小窓だより

四ツ葉園との交流

令和六年四月に当施設が開所し、まもなく一年が経過しようとしています。七転八起の連続で毎日賑やかな小窓ですが、利用者さん、職員とも日課に慣れたところではあります。

そんな小窓では地域交流の一環として、隣接する四ツ葉園の様々な行事に参加しています。月一回のミュージックケアと、月・水・金の午後は運動を行う為、体育館を使用しています。

また、納涼祭や四ツ葉園祭、期末の集いといった行事にも参加させていただき、小窓単体では味わえない規模の大きなイベントに、緊張感もありながら楽しんでおられる様子でした。



関係機関との交流・連携

当施設の利用者さんが利用されている富山市の「このゆびとーまれ」相談支援専門員の牧野俊輔様よりコメントをいただきました。

『全国的に行先が無く、困っている強度行動障害のある方が増えてきていると言われていいます。そのような状況の中、小窓さんは充実した設備と専門性の高いスタッフの方々がおられるので、貴重で頼れる存在だと感じています。いつも助けてもらってばかりいるのですが、これから小窓さんや色々な方々とともに、地域全体で誰一人して取りこぼすことなく、支え合える関係を築いていきたいです。』

今後も関係機関と連携を図り、利用者の皆さんにとってより良い暮らしを実現できるように努めていきます。

（伊藤沙支援員 記）

グループホームだより

新川会グループホーム
地域連携推進会議

今年度より地域連携推進会議が始まりました。参加していたくのは、地域の方（区長、民生委員）、利用者代表、保護者代表、市町村担当者となります。第一回は趣旨の説明や日頃当事業所に対して感じていること等、利用者の意見を聞きながら、和やかな雰囲気で見聞交換をしました。

今後、地域連携推進会議を通じて、専門家ではない視点からの気づき等を得て、利用者と地域との関係作りやサービスの透明性・質の確保から利用者の権利擁護の推進に活かしていきたいと思っています。

（野島施設長 記）

地域連携推進会議に参加して

立山町民生児童委員

守田 英一

この度、地域の関係者として地域連携推進会議に参加させていただきました。日頃、障害者支援施設及びグループホームで

生活されている方々との接点は多いとは言えません。この様な会議を通して課題や対策を評価し、また地域住民の障害者支援に対する意識向上に繋げ地域社会全体で障害者を支える仕組み作りが大切であると感じました。施設運営をされている皆さまの今後の取り組みに期待いたします。



職員インタビュー

今回の職員インタビューは、栄養士の2台巨頭、坂下美咲栄養士と角川明子栄養士です！

Q 二人が四ツ葉園に入社したきっかけは何ですか？

A（坂下） 障がい者の方の食事について興味があったことと、四ツ葉園の職員の皆さんが優しかったからです！

A（角川） 学校に来ていた求人票を見て、先生に勧められたからです。

Q 栄養士としてのやりがいを感じる瞬間を教えてください。

A（坂下） 利用者の皆さんが食事を美味しいと楽しみに待ってくださる時です。

A（角川） 残食が少なかった時と作った献立の見た目が色とりどりで食欲をそそるような盛り付けになっていた時です。

Q 休日のリフレッシュ方法などを教えてください。

A（坂下） 映画や温泉など、色んな所遊びに行く事です。

A（角川） 一日寝ているか、本屋で爆買いです。

Q 今年チャレンジしたい事や達成したい目標はありますか？

A（坂下） 管理栄養士を目指して、栄養や食事についての知識を増やしたいです。

A（角川） 名前と顔を一致させることです。（角川さんは入職1年目です）

Q 最後に皆さんにメッセージをお願いします。

A（坂下） これからもご迷惑をかける事があるかもしれませんが、精一杯頑張りますのでよろしく願います！

A（角川） 食べることが元気に繋がります。苦手なものでも食べられるように味の工夫をしていきますので、楽しい食事にしましょう！



前列左：角川栄養士、前列右：坂下栄養士
後列：調理員の皆さん
※撮影時のみマスクを外しています。